

多職種連携通信

平成30年10月発行

8月28日に開催された『三鷹市在宅ケアを支える多職種交流会』の様子をご報告します！

今回の交流会は、多職種協働による支援の実践に向けて、高齢者向け施設の役割と連携の仕方を学んでいただくことをねらいに開催しました。128名の方にご参加いただきました。参加された皆様に心からお礼申し上げます。

交流会は、4つのブースを設けそれぞれの施設に精通した講師から施設の特徴や役割をご説明いただいたあと、参加された方々との意見交換を行いました。参加者の多くから、「知っているようで

知らなかった各施設の機能や特徴を知ることができ、とても有意義な機会だった」という感想をいただきました。



各ブースのテーマと講師は次のとおりです。



①老人保健施設の機能と役割

〈講師〉 三鷹市牟礼老人保健施設はなかいどう 長坂 潤氏
介護老人保健施設三鷹ロイヤルの丘 竹原 真也氏

②都市型軽費老人ホーム・ケアハウスの仕組みと種類

〈講師〉 ケハウスかみれん 塚本 和徳氏
ケアハウス弘陽園 都崎 博子氏



③特別養護老人ホームのケアと看取り実践

〈講師〉特別養護老人ホームみたか紫水園 溝口 暁史氏
特別養護老人ホーム弘済園 石川 まゆ美氏

④有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の種類と選び方

〈講師〉 (株)介護施設研究所 齋藤 弘毅氏



意見交換やアンケートで出された主な意見・感想をブース毎にまとめましたので、交流会の雰囲気を感じてもらえればと思います。

【老人保健施設】

- ・薬の負担、コストの問題など、在宅では見えてこない話を聞くことができ役に立った。
- ・介護職、看護職、リハビリ職の連携が十分取れていることが老健の強み。「在宅に戻っても不安があればまた申し込みを！」という一声が本人や家族には心強い。
- ・在宅復帰に向けて多職種が協働することの大切さが分かりました。

【軽費老人ホーム・ケアハウス】

- ・ケアハスの方も地域の活動にお誘いできる繋がりができました。
- ・軽費老人ホームやケアハウスも選択肢の一つとして紹介できるようになりたいと思った。
- ・所得の低い人も入れる都市型軽費について知ることができて良かった。
- ・都市型軽費やケアハウスが、現在取り組んでいることや実情を知ることができ、連携が取りやすくなった。

【特別養護老人ホーム】

- ・特養での看取りに対する思いや体制を知ることができて良かった。
- ・医師と介護スタッフの最期の役割の違いを聞くことができて良かった。
- ・特養での看取りの様子と課題が見えて勉強になりました（具体的なイメージがもてました）。
- ・特養の男性入居者の少なさに驚きました（待機者が大勢いるのに）。
- ・持病をお持ちの方の入居など、医療に関わる部分の説明をもう少し聞きたかった。

【有料老人ホーム・サ付住宅】

- ・有料老人ホームの選び方のチェックポイントが具体的で大変参考になった。
- ・「入居希望者と家族が満足できる施設はない。自宅が一番」という講師の言葉に、在宅介護に関わる身として気が引き締め、励みにもなりました。
- ・有料老人ホームを利用者に紹介する時、どのように話せばよいか教えてもらえて参考になりました。
- ・説明が具体的でこまかく分かり易く理解を深めることができた。
- ・介護付、住宅型、サ高住のそれぞれのメリットとデメリットが理解できた。



「三鷹市における地域包括ケアシステム作り」のためのご意見をお寄せください。

（連絡先）三鷹市高齢者支援課高齢者支援係

45-1151(代表)

三鷹市東部地域包括支援センター(皆川)

48-8855

発行：三鷹市多職種連携ワーキンググループ